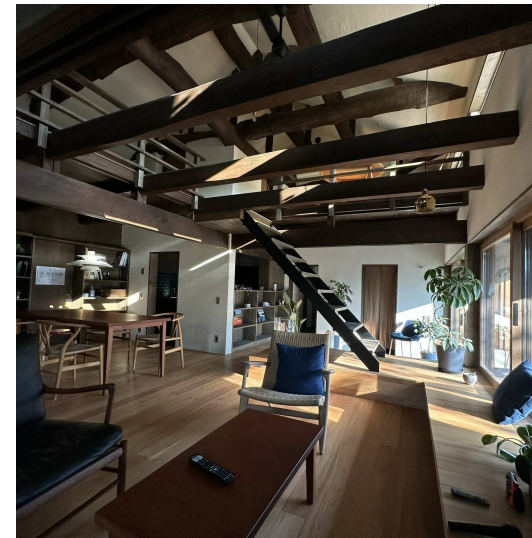


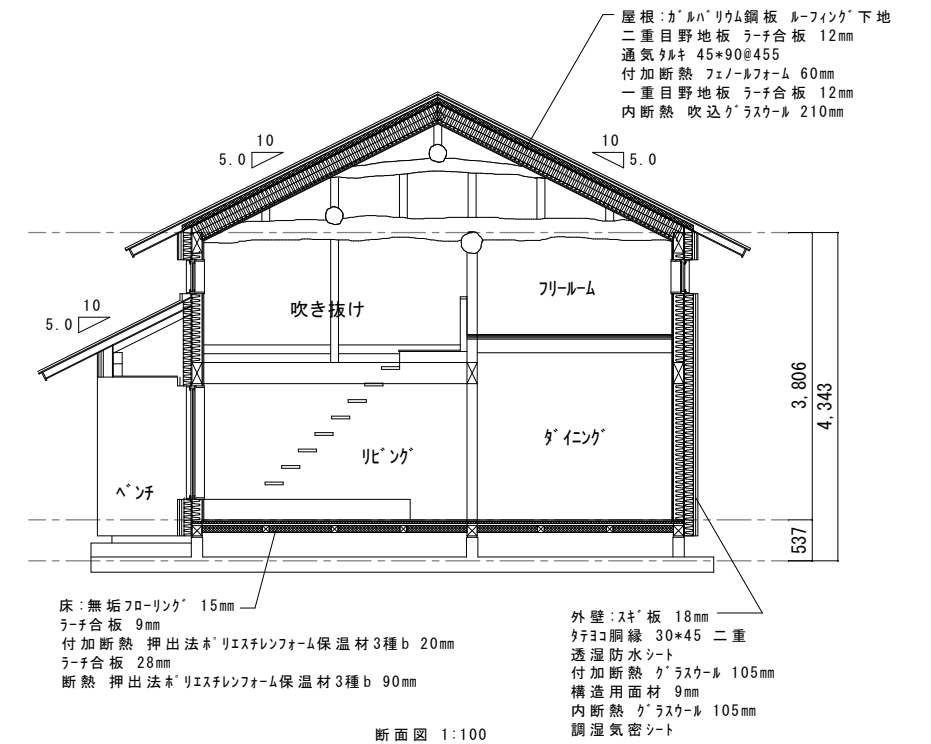
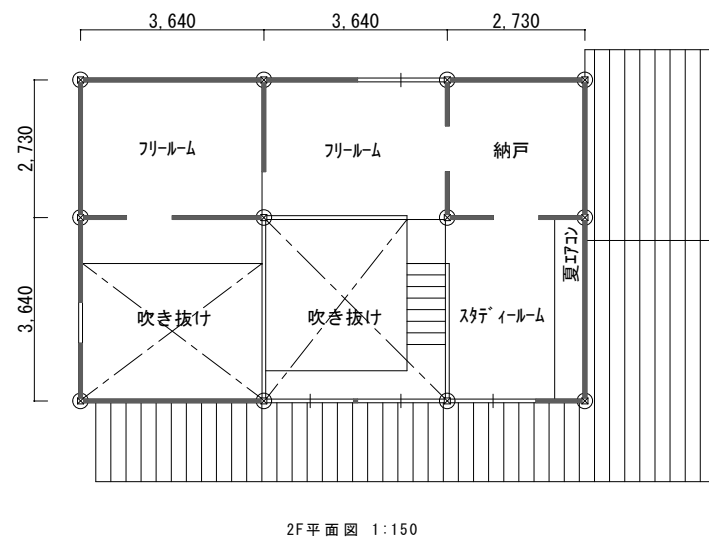
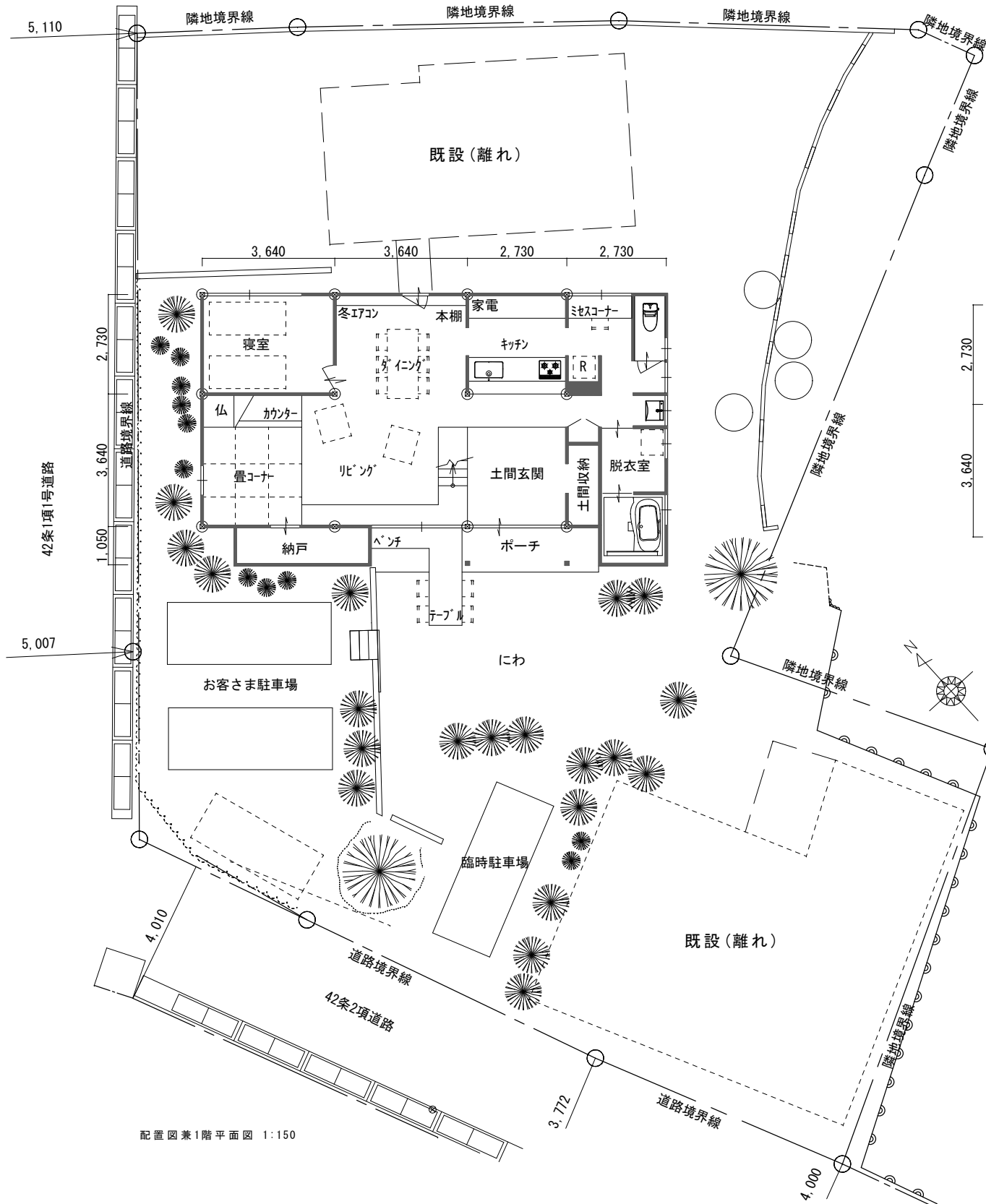
HEAT20 G3グレードの古民家改修

築80年ほど建った建物の改修モデルハウス。
 石場建てで無断熱だった建物を現代版の性能にすることを目標とした。
 雨漏りもあったため骨組みを残したスケルトンとし、基礎、木構造は全面的に改修。
 真南に対し45度近く振った建物配置のため、日射熱取得が難しく、高断熱化で心地よさを計画。
 屋根面、外壁面、床面共に付加断熱を採用し、HEAT20 G3グレードに。
 合わせて、高気密化することで真冬や真夏でも上下温度差1℃以内を実現。
 年間計測結果では夏冬共に1台のエアコンで全館冷暖房が実現できた。
 12本の屋根荷重を支える柱を残し、田の字平面を回遊性のある平面に変更。
 庭ともつながる心地いいリノベーションとなった。

建築概要	
建設地	： 愛知県豊橋市杉山町字東原37-2
敷地面積	： 437.25㎡
1階床面積	： 86.89㎡
2階床面積	： 39.56㎡
延床面積	： 126.45㎡
構造	： 在来軸組工法
耐震性能	： 改修により評点1.5以上
断熱性能	： Ua値 0.26
空調設備	： エアコン2台(夏用・冬用)
換気設備	： 第三種換気(壁付け)
給湯設備	： エコキュート(電気)
設計施工	： 樹ニコハウス設計室 (愛知県:担当者 鈴木)



畳コーナーより土間玄関側を見る 陽射しの差し込む明るい空間となった



南立面図 1:150